

大学院教育改革支援プログラム「学生海外調査研究」公募のお知らせ(平成21年度)

お茶の水女子大学 「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」
「学生海外調査研究」選定委員会

大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」(以下、本プログラム)では「学生海外調査研究」を公募します。ふるってご応募ください。

【趣 旨】

本プログラムの一つ「国際教育」推進事業の一環として、大学院生の研究活動の支援・育成を目的とする。

【申請資格】

本学大学院人間文化創成科学研究科(又は、人間文化研究科)博士後期課程に在籍する学生で、下記のいずれかに該当する者であることを原則とする。

- (1) 比較社会文化学専攻(又は、国際日本学専攻)に所属する者。
- (2) 上記(1)以外の専攻に所属し、専門研究領域が比較文化社会学の分野と関連している者。
※休学中でも、調査実施時に復学している場合は申請できる(ただし調査期間のみの短期復学は認められない)。
※平成19年度・20年度の「学生海外調査研究」に採択された者は応募できない。

【調査期間】

平成21年12月31日(木)までに帰国していること。

【採 択】

「海外調査研究」計画調書に基づき、選定委員会が審査のうえ採択する。

【海外調査研究費の額、採択数など】

1. 「海外調査研究」の申請件数は1人につき1件とする。
(インターンシップ、アカデミック・ディスカッションとの併願は可能)
2. 採択人数は、「国際教育」推進事業全体で20人程度(平成21年度)とする。
3. 海外調査費補助金の上限は、下記のように定める(1件単年度)。また審査の結果、申請総額の全額が補助されるとは限らない。
渡航費が 7万円未満の場合:23万円、7万円以上15万円未満の場合:27万円、15万円以上の場合:30万円
(尚、「渡航費」とは、渡航期間限定のディスカウント航空運賃、又はそれに準ずるものを指す)
4. 単年度ごとに公募し採択する。

【調査研究の結果報告】

1. 「海外調査研究」に採択された者は、本プログラムに関係する調査研究をおこない、その結果報告書・会計報告書を、比較社会文化学専攻長に提出する。また、調査研究結果を「大学院教育改革支援プログラム『日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成』」学生成果刊行(表題未定)に掲載する。原稿用紙20枚(8000字)程度。
2. 締切は、帰国後1ヶ月。詳細は別途指示。
3. 採択された海外調査研究の成果を、論文等に反映させて公表する。

【申請期限など】

申請期限：平成21年5月7日（木）午後4時 *遅延はいつさい認めない。

提出場所：本プログラム事務局（人間文化創成科学研究科棟 5階 506室「JCS推進室」）

提出書類：「学生海外調査研究 計画調書（平成21年度）」（A4版全4頁）

※【公募規定】および【計画調書】を本プログラムHPから各自ダウンロードし、【計画調書】に記入・捺印の上、**直接事務局まで持参して提出すること。**（※郵送・メールでの応募は、期限内であっても受理しない）

計画調書は指定枚数をこえて記述することは認めない。

採択・非採択の結果は平成21年5月13日（水）までに申請者あてに通知する。

【説明会】

本プログラムについての説明会を、5月15日（金）12時20分より本学にて開催する。詳細は後日連絡する。

※説明会に無断で欠席した場合は辞退とみなす。

【注 記】

研究補助金の使用方法については、審査結果通知後、被採択者に対して説明会を行うので、その指示に従うこと。補助金の使用には、本会計課所定の手続きが必要である。この手続きに従わない補助金の使用はできない。当地での資料購入は、日本で入手不可の場合に限られる。

問合せ先:お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局(JCS 推進室)

URL : <http://www.dc.ocha.ac.jp/dics-jacs/index.htm>

開室時間:平日 10:00-17:00 電話:03(5978)5504 E-mail: gsgp-jcs@cc.ocha.ac.jp